

児童発達支援・放課後等デイサービス

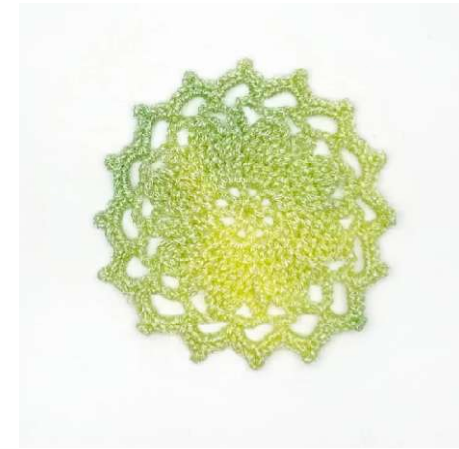
支援プログラム



特定非営利活動法人

カラザ

KARAZA



特定非営利活動法人カラザ

児童療育サポートセンターぴこっと・ぴこっと西町

学齢期療育相談・支援事業所いーずⅠ・Ⅱ・Ⅲ

訪問療育支援事業所こ・らぼ

作成日:2025年4月1日

【企業理念】

当法人に関わる全ての人々によりよい未来を

- 1 当法人は従業員を大切にします
- 2 当法人は子どもとその家族を大切にします
- 3 当法人は地域との繋がりを大切にします

【支援方針】

5年後、10年後をイメージし「今」の療育を通して

将来の自立を支える支援を行います

- 🍁 5年後 10年後を見据えた療育計画
- 🍁 世界的に立証された方法を用いた療育実践
- 🍁 個別療育から集団療育までお子様の能力や特徴に応じた指導の実践
- 🍁 子どもの経過や変化を追うための、定期的なカンファレンスと評価の見直し

児童療育サポートセンター ぴこっと

所在地	〒886-0007 宮崎県小林市真方 116 番地 5
電話番号	TEL 0984-48-4567 FAX 0984-48-4568
営業時間	月曜日～金曜日 8:30～16:00
休館日	土日祝、8月15日、12月30日～1月3日
送迎実施	あり なし



児童療育サポートセンター ぴこっと西町

所在地	〒886-0004 宮崎県小林市細野 481 番地
電話番号	TEL 0984-48-1200 FAX 0984-48-1201
営業時間	月曜日～金曜日 8:30～16:00
休館日	土日祝、8月15日、12月30日～1月3日
送迎実施	あり なし



学齢期療育相談・支援事業所いーずⅠ

所在地	〒886-0007 宮崎県小林市真方 119-1 (1階)	
電話番号	TEL 0984-48-0120 FAX 0984-48-0130	
営業時間	学校のある日	月曜日～金曜日 10:30～18:00 (支援提供時間は 17:30 まで)
	終日利用 (長期休暇、振替休日)	月曜日～金曜日 8:00～18:00 (支援提供時間は 17:30 まで)
	休館日	土日祝、8月15日、12月30日～1月3日
送迎実施	あり なし 学校迎えのみ実施 帰りのお迎えは原則保護者をお願いしています。	



学齢期療育相談・支援事業所いーずⅡ


所在地	〒886-0007 宮崎県小林市真方 119-1 (1階)	
電話番号	TEL 0984-48-0120 FAX 0984-48-0130	
営業時間	学校のある日	月曜日～金曜日 10:30～18:00 (支援提供時間は 17:30 まで)
	終日利用 (長期休暇、振替休日)	月曜日～金曜日 8:00～18:00 (支援提供時間は 17:30 まで)
	休館日	土日祝、8月15日、12月30日～1月3日
送迎実施	あり なし ※学校迎えのみ実施 帰りのお迎えは原則保護者をお願いしています。	



学齡期療育相談・支援事業所いーずⅢ

所在地		〒886-0007 宮崎県小林市真方 282-5	
電話番号		TEL 0984-48-5301 FAX 0984-48-5302	
営業時間	学校のある日	月曜日～金曜日 10:30～18:00 (支援提供時間は 17:30 まで)	
	終日利用 (長期休暇、振替休日)	月曜日～金曜日 8:00～18:00 (支援提供時間は 17:30 まで)	
	休館日	土日祝、8月15日、12月30日～1月3日	
送迎実施		あり なし ※学校迎えのみ実施 帰りのお迎えは原則保護者をお願いしています。	

訪問療育支援事業所こらぼ

所在地		〒886-0007 宮崎県小林市真方 282-5(店舗側)	
電話番号		TEL 0984-48-7931 FAX 0984-48-7932	
営業時間	学校のある日	月曜日～金曜日 9:00～18:00	
	休館日	土日祝、8月15日、12月30日～1月3日	
送迎実施		あり なし	

5 領域		支援内容
健康・生活	児発	日常生活動作/ADL(食事、排泄、更衣、整容など)、余暇活動、興味関心の評価を基に自立に向けて(※立証された方法で)個別に支援を行う【フレームワークを活用した構造化支援】
	放デイ	上記と同様の内容を実施。+ 手段的日常生活/IADL(家事・金銭管理・買い物など)
運動・感覚	児発	感覚の特異性、微細・粗大運動の評価を基に、自立に向けて個別に支援を行う 感覚統合の視点を持った運動・遊び、アダプテーションの視点を持った小集団運動の実施 【アダプテーション・プライオメトリクス】【感覚統合】
	放デイ	上記と同様の内容を実施
認知・行動	児発	注意・注目(切り替え、転導性、衝動性)、整理統合(物・時間等の管理、片付け)、変化への対応、関係理解の仕方(こだわり)の評価を基に、自立に向けて個別に支援を行う 【構造化支援】【フレームワークを活用した構造化支援】【ABA/応用行動分析を取り入れた支援】
	放デイ	上記と同様の内容を実施
言語 コミュニケーション	児発	受容コミュニケーション、表出コミュニケーションの評価を基に、自立に向けて個別に支援を行う 【PECS/絵カード交換式コミュニケーションシステム】
	放デイ	上記と同様の内容を実施
人間関係 社会性	児発	感情コントロール・対人関係の評価を基に、自立に向けて個別に支援を行う 【社会性の機会設定/個別、小集団、遊び】
	放デイ	上記と同様の内容を実施

本人支援



興味関心を活用した課題の中で
基礎概念を教えます



感覚統合の視点を持った運動遊
びを小集団で提供します



PECS を活用したコミュニケーショ
ンを教えています

活動の見通しを視覚的に伝え、
予定の中止・変更も伝えます。
繰り返すことで『予定外の変更』
への練習になります



支援内容

家 族 支 援	<p>①定期的なご家族との面談を実施(2回/年)</p> <p>・児童の発達、特性に関する状況・見立て・介入方法・相談・助言など ・施設内での取り組み(目標)に関する意図・介入方法・効用</p> <p>・支援内容による意図・成果 ※ご家族のニーズに応じ、上記以外の相談も対応 ※ご家庭の都合に合わせて、対面、電話、SNS(zoom、LINE)での面談を実施</p> <p>① 児童の発達に関する相談・助言 ② 支援内容に関する相談・助言 ③ 家庭生活に関する相談・助言 ④ 園生活に関する相談・助言</p> <p>⑤ 就学に関する相談・助言 ⑥ 制度に関する相談・助言等 ⑦ 家族会の開催案内(年2回) ⑧ 法人外研修の開催(年1回)</p> <p>※ご家族のニーズに応じ、上記以外の相談も対応 ※ご家庭の都合に合わせて、対面、電話、SNS(zoom、LINE)での面談を実施</p>
移 行 支 援	<p>インクルージョンに向けた取り組みの推進</p> <p>① 事業所で支援し習得(自立)した行動を、園や家庭などで同様の行動ができる様、般化を目指した支援を実施していく 学校・保育所・幼稚園等への訪問・担当者会議、通所支援などの受け入れ(送迎時)を通して、児童の心身の状況、近況の様子を情報共有し支援に活かす</p> <p>② 関係機関連携加算:児童生徒の状態・支援内容について学校・保育園・幼稚園等と情報共有を行う会議を6ヶ月に1回程度、開催する</p> <p>③ 同事業所内の訪問支援との連携:保護者面談や支援会議にて児童生徒の発達特性、支援方法などの情報共有を行う</p> <p>※②③ 園や学校、児童の特性、家庭状況、通所の必要性に応じて関係機関連携加算または訪問支援を区別して提供する</p>
職 員 の 質 の 向 上	<p>① 入社後オリエンテーション:3か月の期間で、発達・特性・支援(構造化支援・ABA・PECS・感覚統合など)についてじっくり学び、実践に繋げる</p> <p>② 継続的な学びの機会を提供:勉強会、研修、図書コーナーの設置、専門性のあるコラムの提供</p> <p>③ 定期的な研修とディスカッション:施設内・外の研修参加(強度行動障害研修・自閉症基礎・発達セミナー・PECS)</p> <p>④ 施設内でケーススタディの時間を設け、スキル向上(分析力・洞察力・問題化解決力・行動力・論理的思考力・メンタル強化)を図る 施設内委員会の設立・毎月会議の実施</p> <p>① 虐待防止・身体拘束適正化委員会 ② 防犯・災害対策委員会</p> <p>⑤ 資格取得支援制度:資格取得の為の費用補助、学習支援を提供し、職員の専門性の向上を図る</p> <p>⑥ 職場環境の改善:働きやすい環境の整備、ライフワークバランスの推進(定期的な面談の実施・職員のストレス軽減を図る)</p>
主 な 行 事	<p>■共通</p> <p>・避難訓練(年2回)</p> <p>■放デイのみ</p> <p>・外部講師によるダンス教室(月に1回) ・外出活動(公園・外食などの経験) ・調理実習 ・プール遊び ・購買学習 ※主に長期休暇などの終日利用時に実施</p>